

2021年12月10日開催
2022年3月期第2四半期 機関投資家様向け決算説明会
質疑応答サマリー

[Q1]:半導体の不足は業績にどのような影響を与えているのか。仕入側の話と、お客様の減産の影響がどのように出ているのか教えてほしい。

[A1]:半導体不足に関しては、非常に厳しい状態が続いている。仕入でも非常にタイトな状況が継続しており、お客様への供給でもお客様の最終的な生産に影響を及ぼさないレベル感で何とか調整させていただいている状態である。

自動車メーカー様で実際に減産が起きているような報道もある。これは、弊社からの商品供給に限らず、海外調達面での話など様々な要因が関係しているが、弊社の売上という意味では、マイナス要素になっているのも事実。

弊社の納入先は、Tier1※1様が多い。そして、自動車メーカー様とTier1※1様の生産は必ずしも1対1ではないので、自動車メーカー様の減産と弊社の売上が直接結びつくというわけではない。

[Q2]:売上はあまり減産の影響が出ている数字ではなく、第1四半期から第2四半期にかけて増えている。一方でデバイス事業の利益は、第1四半期から第2四半期にかけて若干落としているし、去年の後半ぐらいからあまり落ち着かないように見えるが、どう考えればいいのか。

[A2]:減産はマイナス要素だが、一方で、生産台数に依存しない部分で、新しく売り込んできた商材がシェアを拡大し売上の増加につながった。

この話は、デバイス事業の利益にも関係している。新しくシェアを拡大するために、戦略的に少し利益を絞ってでも取りにしている商材もある。

また、弊社として今後注力していきたい SoC※2 のような製品は競争が激しく、利益率が低下する要素のひとつである。

[Q3]:上期業績は想定より良かったのか悪かったのか。それを踏まえて、下期業績をどのようにとらえているのか。デバイス事業だけでなく、ソリューション事業も踏まえて知りたい。

[A3]:上期は想定より良い数字であり、もう少し上がる可能性はあったと考えている。下期については、想定外のリスクを抱えながらではあるが、まずはお客様にしっかりと供給をさせていただくことに邁進する。

ソリューション事業は、半導体製造装置系搬送メーカー様が非常に好調であり、こちらにしっかりと供給させていただくことと、弊社で生産し納入する製品も多くあり、その部品調達も重要。ソリューション事業は特に、売上を上げることと併せて、利益のドライバーとして、利益確保も行っていく。

[Q4]:ソリューション事業が下期順調ならば、下期の利益がもう少し増えるのでは。(年間の業績予想から上期実績を引いた下期予想は)売上と比較して、利益が伸び悩む感じに見える。これは、デバイス事業であまり利益が伸びないということか。

[A4]:ソリューション事業の売上の伸びと、デバイス事業の売上の伸びを比較すると、上期はデバイス事業の比率が 3.4 ポイントほど高い。ソリューション事業と比較して利益率の低いデバイス事業の売上の伸びの方が高いと、売上の伸びと利益率の伸びが比例しない状態となる。

[Q5]:中計の最終年度(2年後)は営業利益 50 億円を掲げており、今期予想が 36 億円であるならば、来期は 43 億円ぐらいを狙わないといけないと思うが、来期に向けた抱負を知りたい。

[A5]:利益確保に向けて、新しい製品、新しい事業、高付加価値事業を重要と考えている。デバイス事業では従来品だけでなく、それ以外の様々な商材も売上を伸ばすことが必要。ソリューション事業では、ビジネスモデルの変革を急ピッチで行っている。IT 製品の場合、ハードウェアだけの販売ではなく、サービスビジネスやシステムインテグレーション^{※3}をどう付け加えて販売していくのかというビジネスに軸足を換えようとしている。早く変化をさせ数値に結び付けていきたい。

[Q6]:材料費の高騰による製品価格高騰に対し、どのように対応しているか。

[A6]:材料費の高騰による値上げに対しては、仕入先様からのご要求の内容に沿って、お客様と調整をし、適切な対応を取らせていただくのが弊社の今の方針。

[Q7]: 9 月末在庫金額 217 億円は大きい数字とを感じるが、どう捉えているか。在庫積み増しを行っているということなのか。

[A7]: 想定金額内である。在庫管理のうえで重要なのは、稼働するアクティブ在庫と長期保有在庫(メーカー様の生産終了品)をどのように確保してお客様に供給させていただくかという点であり、種類を見極めた在庫回転率を維持することと考えている。

(用語説明)

※1 Tier1 : メーカーに直接納入する一次サプライヤー。

※2 SoC : System on a chip の略。1 個の半導体チップ上にシステムの動作に必要な機能の多く、あるいはすべてを実装した集積回路。

※3 システムインテグレーション : ハードウェアやソフトウェア、ネットワークなどを組み合わせて利便性の高いシステムを構築すること。